

「子ども・若者総合計画（令和7～11年度）」の施策体系について（10/21案）

基本理念

子ども・若者とともにつくる
 子どもの権利が保障され
 自分らしく成長できるまち
 豊島区

目指す姿	取組の方向性	具体的取組	計画の進捗を図る指標
I 子どもの権利が保障され 子どもが 自分らしく成長できるまち	(1) 子どもの権利に関する理解促進 (2) 子どもの意見表明・反映及び社会参画の支援 (3) 子どもの居場所・体験活動の充実 (4) 子どもの権利侵害の防止及び相談・救済	(1) ①子どもの権利の普及啓発・情報発信 (1) ②子どもの権利に関する継続的な学びの推進 (2) ①子どもの意見表明・反映及び社会参画の仕組みづくり (2) ②子どもの意見表明・反映及び社会参画の支援 (3) ①子どもの居場所の充実 (3) ②屋外遊び場の充実 (3) ③活動・体験機会の充実 (3) ④学習支援の充実 (4) ①児童虐待防止対策・いじめ防止対策 (4) ②相談・救済体制の整備	(1) 「子どもの権利に関する条例」を「知っている」と回答した人の割合 (1) 職場や地域で子どもが子どもの権利を学ぶ機会が「ある」と回答した区施設職員地域団体の人の割合 (1) 区心理検査「自己肯定感」の設問における肯定的回答率（主要な施策の成果報告） (2) 家で何かを決めるとき、「意見を言える」と回答した子どもの割合 (2) 家で「意見や思いを大切にされた」と回答した子どもの割合 (2) 子どもが自主的・主体的に地域や活動に参加できる機会が「どちらかというところ」と回答した区民の割合 (2) 地域活動・イベント・ボランティア等に参加したことがあると回答した子どもの割合 (3) 子どもの遊び場が充実していると回答した保護者の割合 (3) 子どもがホッとできる居場所として「地域」と回答した割合 (3) 区の施設や事業の満足度 (4) 学校が楽しいと感じている子どもの割合 (4) 不安に思うことや困っていることを相談でき、虐待や体罰、いじめなどにあったときは助けを求められることができると回答した割合 (4) 困ったり悩んだりしたときに相談窓口を利用したくないと回答した子どもの割合 (4) 上記の理由として、相談しても解決できないと思うからと回答した子どもの割合 (4) 家族や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所（なやミフリースペース、アシスとしまなど）があることを知っているかと回答した子どもの割合
II 妊娠期の方や 子育て家庭が 安心して 子育てできるまち	(1) 子どもや家庭への医療・健康支援 (2) 子育て家庭への支援	(1) ①妊娠からの切れ目のない支援 (1) ②子どもの健康確保のための取組 (2) ①子育て支援サービスの充実 (2) ②家庭教育支援 (2) ③相談支援 (2) ④生活困窮家庭への支援 (2) ⑤ひとり親家庭への支援	(1) 安心して子どもを産む環境づくりができていると思う保護者の割合 (1) これからも豊島区に住み続けたいと回答した保護者の割合 (2) 子育てが楽しいと感じることの方が多いと答えた保護者の割合 (2) 育児に不安や悩んでいることは特にないと回答した保護者の割合 (2) 子育ての相談について頼れる人がいると回答した保護者の割合 (2) 過去1年間でお金が足りず、家族が必要とする食料が買えないことがあったと回答した保護者の割合 （再掲：II(1)②）
III 子どもが 主体的に学び 育つことができるまち	(1) 幼児期から学童期の教育・保育サービスの充実 (2) 子どもの主体性を尊重した学校環境の整備 (3) 子ども・若者支援に関わる人への支援	(1) ①教育・保育施設及び多様な保育サービスの充実 (1) ②幼児教育・保育の質の向上 (1) ③幼稚園・保育所と小学校の連携 (2) ①子どもの権利に関する継続的な学びの推進 (2) ②子どもの意見表明・反映及び社会参画への支援 (2) ③学校における活動・体験機会の提供 (3) ①子ども・若者支援に関わる人への支援 (3) ②子ども・若者支援に関わる人のための環境整備	(1) 保育施設や幼稚園での保育・教育が充実していると思う保護者の割合 (1) 保育所持機児童数 (1) 子どもスキップの待機児童数 (2) 学校が楽しいと感じている子どもの割合（再掲：II(1)①） (2) 学校で自分の意見を「言えていない」と回答した子どもの割合 (2) 学校で何かを決める時、先生が意見を聞いてくれていると子どもが思う割合 (2) 学校で何かを決める時、子どもの意見を聞いていないと回答した小中学校教職員の割合 (3) 「子どもの権利に関する条例」を「知っている」と回答した人の割合（再掲：I(1)①） (3) 職場や地域で子どもの権利について学ぶ機会がないと答えた割合
IV 若者が 社会とつながり合い 自分らしく成長できるまち	(1) 若者の自立支援 (2) 若者の参加支援	(1) ①日常生活への支援 (1) ②経済的自立への支援 (2) ①居場所・活動の場の充実 (2) ②社会参画の推進	(1) 自分のことが「好き」と回答した若者の割合（好き+だいたい好き） (1) 今までに社会生活や日常生活を円滑に送ることができなくなったことが「ある」と回答した若者の割合 (1) 自分には「話せる人がいない」と回答した若者の割合 (1) 不安に思うことや困っていることを相談でき、虐待や体罰、いじめなどにあったときは助けを求められることができると回答した割合 (2) 若者がホッとできる居場所として「地域」と回答した割合 (2) 若者が「自分が役に立たないと感じている」と回答した割合 (2) 地域活動・イベント・ボランティア等に参加したことがあると回答した若者の割合 (2) 国政選挙や地方選挙に行っていないと回答した若者の割合
V 子ども・若者が 安心して 生きることができるまち	(1) 一人ひとりに寄り添った支援 (2) 相談体制の充実と情報発信	(1) ①子どもの虐待防止（再掲）、ヤングケアラーへの支援 (1) ②社会的養育の推進 (1) ③子どものいじめ防止（再掲）、不登校、ひきこもりへの支援 (1) ④障害のある子ども・若者や医療的ケアが必要な子どもへの支援 (1) ⑤外国にルーツを持つ子ども・若者への支援 (1) ⑥非行・犯罪に陥った子ども・若者への支援 (1) ⑦その他配慮が必要な子ども・若者（DV、多様な性自認・性的指向の人々、自殺予防など）への支援 (2) ①相談体制の充実と情報発信	(1) 学校が楽しいと感じている子どもの割合（再掲） (1) 過去1年間でお金が足りず家族が必要とする食料が買えないことがあったと回答した保護者の割合 (2) 不安に思うことや困っていることを相談でき、虐待や体罰、いじめなどにあったときは助けを求められることができると回答した割合（再掲：I(4)） (2) 困ったり悩んだりしたときに相談窓口を利用したくないと回答した子どもの割合（再掲：I(4)） (2) 上記の理由として、相談しても解決できないと思うからと回答した割合（再掲：I(4)） (2) 家族や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所（なやミフリースペース、アシスとしまなど）があることを知っているかと回答した子どもの割合（再掲：I(4)）
VI 区民・地域・企業等が 子ども・若者・家庭を支え ともに成長できるまち	(1) 区民・地域・企業等との連携・協働 (2) 安全・安心な社会環境の整備 (3) 子ども・若者が文化や芸術に親しむことのできるまちづくり	(1) ①地域の子ども・若者支援活動、子育て支援活動への支援 (1) ②区民や地域団体、大学との連携・協働及び地域ネットワークの形成 (1) ③仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し (2) ①子育て世帯にやさしいまちづくりの推進 (2) ②有害環境等への対応 (2) ③事故予防・防犯の推進 (3) ①文化・芸術に親しむ環境づくり	(1) 地域における子育て支援や見守り活動が活発に行われていると思う保護者の割合 (1) 職業生活と家庭生活を両立するための支援が行われていると思う保護者の割合 (2) 子育てを視野に入れた住宅対策や道路・施設整備が行われていると思う保護者の割合 (2) 子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等の情報が欲しい、あるいは不足していると思う保護者の割合 (2) セーフコミュニティの認証 (3) 文化芸術に触れる機会が「どちらかというところと多くなった」と感じている区民の割合